

## 研修会・講習会

## 大会 参加報告 (第28回日本クラブユースサッカー選手権 [U-15])

## ----- 「サッカーの魅力を引き出すレフェリングを」 サッカー2級審判：梶原 彰一 -----

大会名: adidasCUP2013 第28回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会  
 期間: 8月14日(集合日)・8月15日(木)～8月17日(土)  
 場所: 北海道帯広市、中札内村

## 【担当試合】

1日目 @帯広市グリーンパークBピッチ アセッサー: 青木隆氏  
 10:00 キックオフ ベガルタ仙台 VS FC古河 副審1  
 14:40 キックオフ スプレッド・イーグルFC函館 VS ジュビロ磐田 副審1

2日目 @中札内交流の杜A アセッサー: 鈴木武明氏  
 10:00 キックオフ JSC CHIBA VS サガン鳥栖唐津 主審

3日目 @帯広の森球技場Aピッチ アセッサー: 山口茂久氏  
 12:20 キックオフ FC五十嵐 VS ジェフ千葉 主審



両チーム主将と握手する  
 梶原 審判員

## 【研修内容】

1日目 講師: 林則治氏 テーマ「競技者が楽しめるサッカーの魅力を引き出すレフェリングを達成する為に」  
 2日目 講師: 柿花和夫氏 テーマ「主審に必要なリーダーシップ」  
 3日目 講師: 大岩真由美氏 テーマ「試合中のPK」

## 【研修に参加して】



この度、北海道帯広市、中札内町で開催された第28回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会に地域派遣として、審判員として参加してきました。

関西サッカー協会からは、湯尾智頭氏(大阪府)、西村隆宏氏(京都府)も一緒に参加しました。この大会は、地域からの2級審判員だけでなく、女子1級も多く参加し、普段とは違った雰囲気での研修会でした。

今回のテーマは『競技者が楽しめるサッカーの魅力を引き出すレフェリングを達成する』でした。そのために審判員が出来ることを初日に話し合い、グループリーグの割当に挑みました。

私はグループリーグの初戦に副審2試合、第2戦に主審及び第4の審判員、第3戦に主審の割当を頂きました。今回のテーマに対する目標は『安全』、『一貫した判定基準で競技者にストレス無くサッカーに集中してもらう』ことを設定し、割当に挑みました。

目標に対して、ある程度、達成できたこと、出来なかったことがあります。競技者がどの試合もサッカーに集中してくれた点は良かったです。

日ごろ、一緒に試合を組むことのなかった女子1級審判員の方からサッカーの話やトレーニングの仕方など情報を交換できたことは有意義でした。特に、アイコンタクトの重要性について、審判仲間で話し合いをしたことが印象に残っています。また地元、関西の仲間にも共有していきたいと思えます。

最後になりましたが、推薦して頂いた関西サッカー協会審判委員会及び北海道サッカー協会の皆さま、一緒に参加した審判員の仲間、大会を運営してくれたスタッフに感謝します。また日ごろ、お世話になっている兵庫県サッカー協会の仲間にも感謝します。

改めてサッカーが様々な人の協力で出来ていることを実感できた大会でした。

これからも競技者のため、毎試合、毎試合、大切にサッカーと向き合っていきたいと思えます。